



XIB キャピタルパートナーズ 森・濱田松本法律事務所 共催ウェビナー

～ポスト・コロナの M&A を考える～

事業ポートフォリオ再編・カーブアウト M&A の要点

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、事業・財務状況の悪化や将来の不確実性を受けて、2020年4、5月のM&Aの件数は前年比で大幅に減少しています。そのような中、資金確保、経営効率の改善等を目的として、事業の一部を切り出すカーブアウト M&A のニーズが高まると言われています。また、昨今のグローバル化やデジタル革命により経営環境が急変する中で、企業が持続的に成長していくために、中長期的な視点からも事業ポートフォリオの見直し・最適化を行い、経営資源の効率的な活用や将来への成長投資に集中することの必要性が高まっていると言われており、経済産業省から「事業再編実務指針」が公表されることが予定されています。

このような事業ポートフォリオ再編やカーブアウト M&A については、売主からカーブアウトされた事業が買主の下で円滑に運営できるかという観点から、通常の M&A とは異なった視点での検討も必要になります。本セミナーでは、売主・買主それぞれの視点から、事業ポートフォリオ再編・カーブアウト M&A において留意すべき点について解説します。本セミナーのトピックには、以下の論点が含まれる予定です。

- 事業ポートフォリオ再編の必要性
- カーブアウト M&A の特徴
- 事業再編・カーブアウト M&A の方法
- デュー・ディリジェンスのポイント

- スタンド・アローン・イシューへの対応
- スピンオフの活用

日時 2020年7月27日(月) 12時～13時半

場所 Teams を使用したウェビナー形式で実施します。

講師 松下 憲 (森・濱田松本法律事務所 パートナー 弁護士)

国内外の M&A とコーポレートガバナンスを中心に企業法務を取り扱う。特に、公開買付けをはじめとする上場会社の M&A、事業会社・PE ファンドによるカーブアウト M&A、敵対的買収・アクティビスト株主対応等の豊富な経験を有する

中野 隆喜 (XIB キャピタルパートナーズ株式会社 シニアアドバイザー)

前 UACJ 代表取締役兼専務執行役員。2017 年より 2020 年 4 月まで経営トップとして指揮を執る。UACJ 入社前は 2013 年まで古河スカイにて常務取締役等を歴任し、それ以前は 2004 年まで新日本製鉄 (現日本製鉄) にて欧州事務所長、経営企画部、経理部等の業務に従事

お申込み 本セミナーにお申込みを希望される方は、下記担当者までお知らせください。

担当: 會田靖夏 (XIB キャピタルパートナーズ取締役パートナー)

連絡先: shizuka.aida@xibcapital.com / 03-6259-1156